

新任医師のご紹介

救急科の新設・前島医師入局のお知らせ

この4月に、前島健志医師が入局しました。

前島医師は関西医科大学救急医学講座に在籍し、当院に6年間、当直・日直の非常勤医師として勤務していました。

新病院への移転を本年10月1日に控え、建物だけではなく診療体制を充実させる為に、また当院の強みの一つである救急受入をさらに充実させる為に、4月に救急科を立ち上げました。このタイミングで、前島医師に常勤医師として入局してもらいました。今後は、前島医師を中心に救急科を充実させていきたいと考えています。

また、前島医師は先代（初代院長）田中治の孫にあたります。創設者田中治の想いを引き継ぎ、新病院でも有隣会の理念である「地域社会との共存・共栄 地域住民の健康を支援することで地域社会に貢献すること」を実践し、今まで以上に、地域医療に貢献するべく断らない紹介受け入れを進めていきます。

前島 健志(まえじま けんじ)医師

★専門分野★

救急医療全般

●専門医資格等

- ・日本救急医学会救急科専門医
- ・日本内科学会認定内科医
- ・日本DMAT隊員

◇経歴◇

1988年生まれ

福岡大学医学部卒業

関西医科大学救急医学講座在籍

◇趣味◇

キャンプ

トライアスロン



自己紹介

私は、祖父(田中治)の影響を受け、幼少期の頃から地域医療に携わる医師を志しました。その地域医療を担う為に関西医科大学救急医学科で、内科外科・軽症重症に関わらず救急診療・集中治療を学び、徳洲会病院内科では離島での地域医療、上下部消化管内視鏡を学びました。私が入局したことで、今まで当院の医師が重複などで受け入れることが出来なかった患者さん、救急医の診療が必要な患者さんを積極的に受け入れていきます。当院で可能な医療の提供と必要な場合には高次医療機関への紹介を含めて、24時間365日、ご紹介の患者さんを受け入れ可能となるように、体制を強化する予定です。これからよろしくお願い致します。

2022年(令和4年)度の救急車受入実績は

4年連続で3,000件以上を達成しました。

当院は2019年度以降4年連続で救急受入件数3,000件以上を達成しました。しかしながら2020年度以降はコロナ禍による救急医療の逼迫、院内でのクラスター発生等による救急受入の一時ストップなどが発生し、救急受入件数はコロナ禍突入の2020年には3,000件まで下がりました。その後当院でもコロナ感染対策を徹底し、2021年は3,153件、2022年度は3,192件と少しずつ受入件数を増やす事ができました。(図1)



しかし、救急の依頼件数はコロナ禍以降2021年、2022年と飛躍的に増加しています。2019年度の3,968件から2022年度は6,626件と約2倍の依頼件数となりました。

コロナ禍における救急逼迫状況の影響もあり、私たちの予想をはるかに上回る依頼数となり、その為に非常に多くの搬送依頼を断らざるを得ない状況となりました。

(図1) 年度別・救急受入件数



当院の受入キャパシティを大きく超える依頼件数と、コロナ感染対策に戸惑う中で、少しでも多くの救急搬送を受入しようと努力した結果が3,192件という受入件数に繋がったと考えます。

新病院ではさらに多くのニーズに応えられるようにしていきたいと考えています。

表面でご紹介させていただいた通り、4月からは関西医科大学救急医学科より前島医師が常勤として入局しました。前島医師とともに救急受入体制、紹介受入体制の整備を行っていきます。

また、新病院では救急設備を今以上に取り揃え、ソフト、ハードともに充実した2次救急指定病院を目指していきます。

東大阪病院 地域医療連携部

直通TEL 06-6932-0369 直通FAX 06-6932-0086

東大阪病院 (代表)

大阪府大阪市城東区中央1丁目7-22

TEL:06(6939)1121 FAX:06(6939)1191